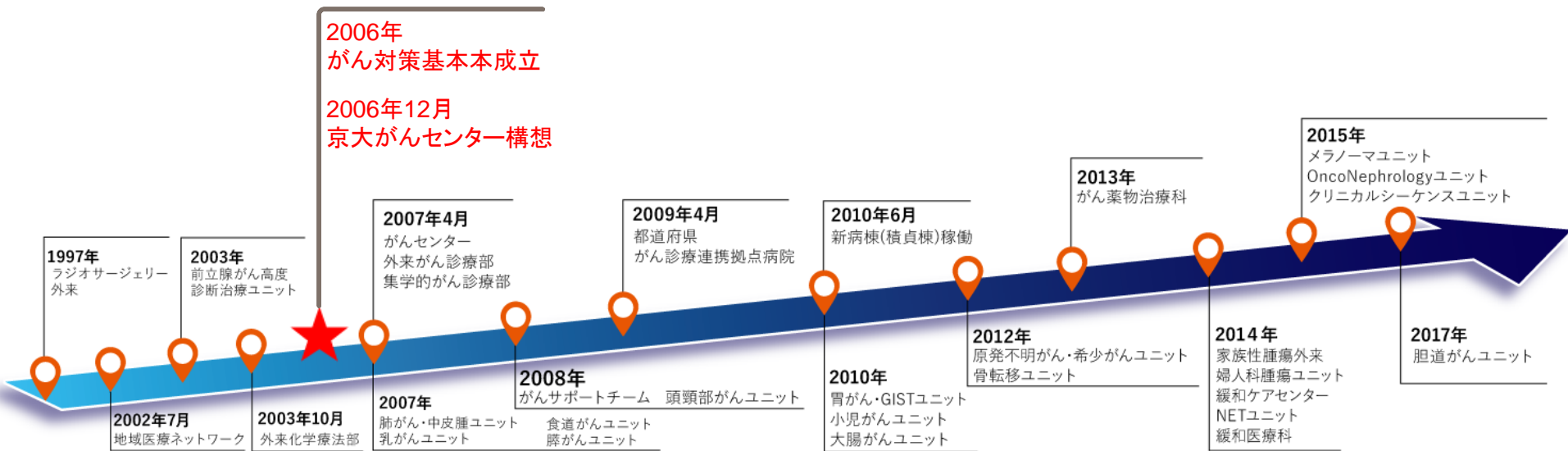


緩和ケアセンター のご紹介



京大がんセンターの経緯



2014年
緩和ケアセンター
緩和医療科
開設

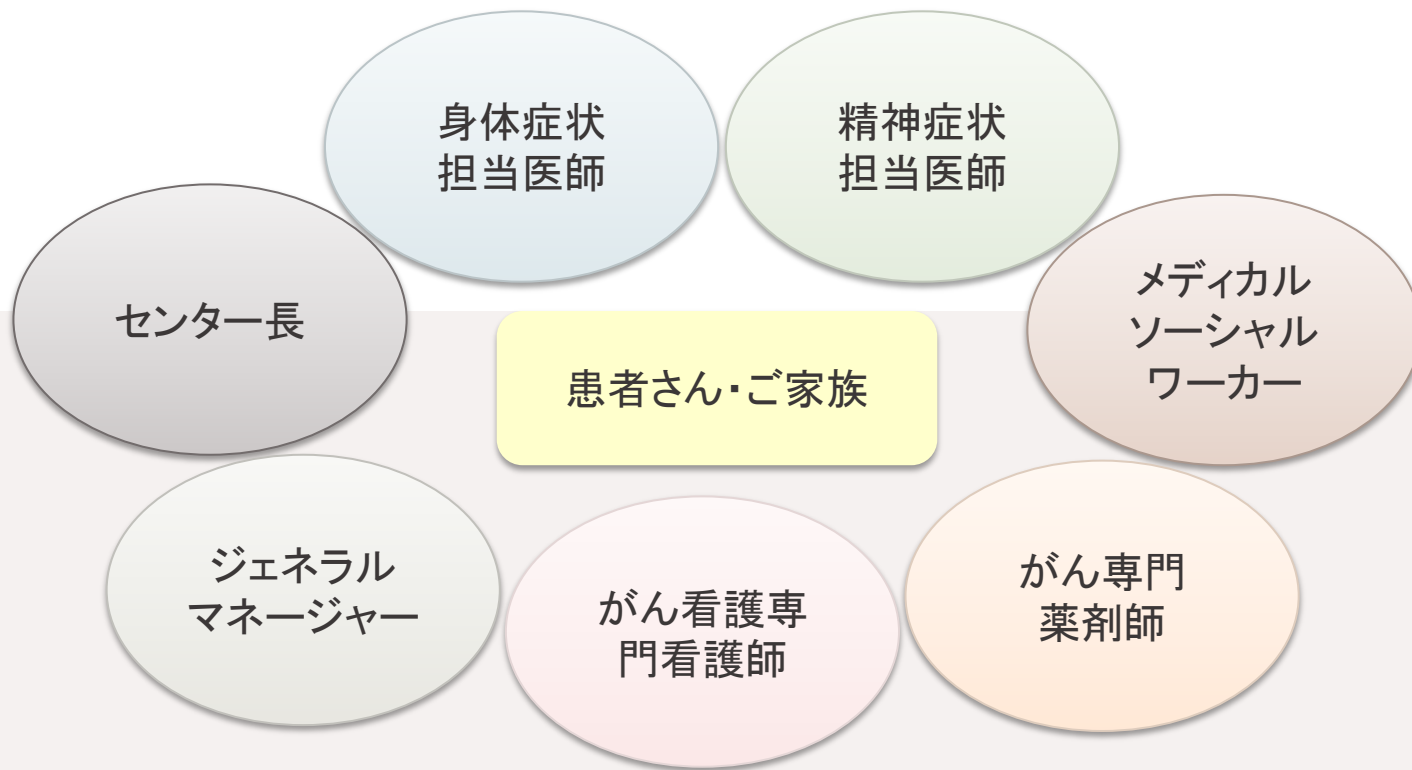
がん治療における「緩和ケア」とは

「緩和ケア」は、身体や心の“つらさ”を和らげ、がんと向き合う患者さんを支え、自分らしい生活を送ることができるようにするための医療です。

がんの治療と並行して、痛みや悩み、つらさに様々な方法で対応します。
また、社会生活を「送るうえでの悩みや家族の悩みなど、生活全体の悩みも含めて対応します。

「緩和ケア」は“がん”の医療を、単に病気に対する医療としてだけでなく、身体と心、社会生活、あるいは家族まで含めて支えていく考え方です。患者さんやその家族の、痛みなどの身体的・精神心理的・社会的・スピリチュアルな問題を早期に発見してケアをすることで、QOL(生活の質)を改善します。

緩和ケアの人員構成

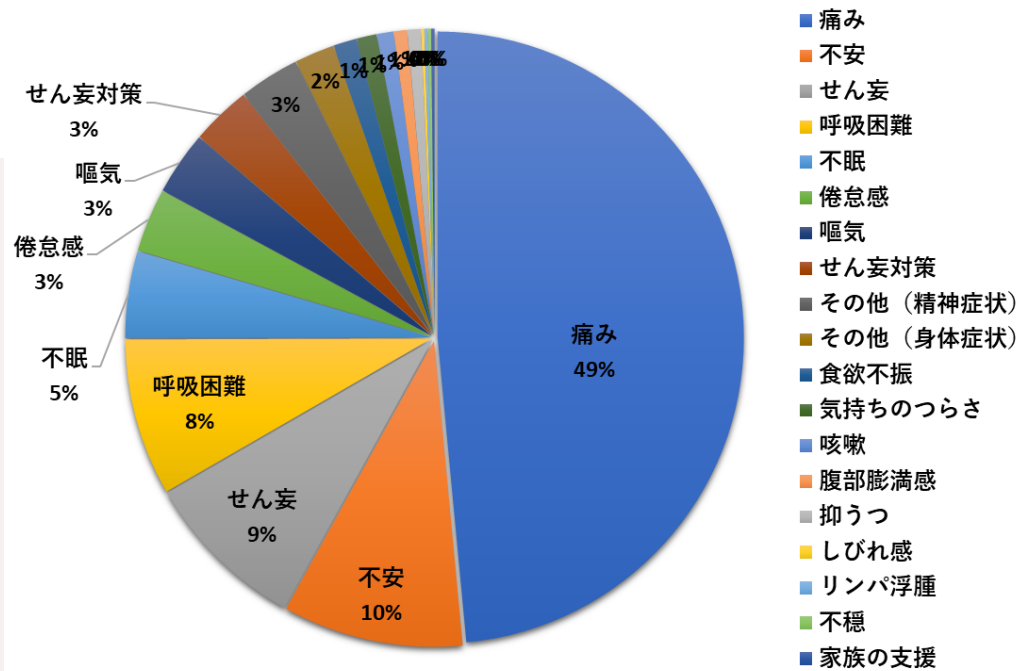


緩和ケアチームとは

病気や治療に伴う身体のつらさ、落ち込みなどの心のつらさなど療養生活全般に渡る患者さん・ご家族の不安や心配が緩和できるように、多職種で専門的にサポートするチームです

2021年度実績

症状別依頼件数（計567件）



このような症状や生活における 問題への緩和に向けて活動しています

身体の つらい症状への対応

- 痛み、しびれ
- 吐き気
- 息苦しさ
- 身の置き所のないだるさ
などの症状に対応します

ご家族の さまざまなお悩み

- 患者さんにどのように接したら
よいか分からない
- 患者さんの病状や今後のことが
不安な気持ち

などのケアを行います

お薬の服用 に当たっての相談

薬の使い方の説明や副作用対策を
行います

医療費や医療福祉制度 についての相談

これからの療養生活や介護に関す
る不安、心配事、社会的な疑問など
を一緒に考えます

お食事に関する相談

食事形態や食欲不振などの関する
対応策を一緒に考えます

精神症状への対応と こころのケア

- 不安、不眠、気分の落ち込み
- やり場のない怒り、いらだち
- 落ち着かない気持ち
などのケアを行います

日常生活に関する相談

生活内での不便さや気がかりなこと
について、工夫できる点がないかを
一緒に考えます

リハビリテーション

日常生活動作の障害に対しての指
導や訓練を行います

多職種チームアプローチと チームコミュニケーションに努めています

多職種
カンファレンス



症例検討会

朝の情報収集と
ミーティング

日々の
ラウンド



* 患者さん役は看護師が行っています

がん看護専門看護師の主な活動内容

◆ 緩和ケアチーム専従看護師としての活動

- ・チーム以来患者さんの調整、病棟との連携
- ・患者さん・ご家族への直接的ケア（心理・スピリチュアルケアなど）
- ・看護スタッフからの相談、コンサルテーション
- ・他職種との連携（地域医療連携部、がん相談支援センターなど）



◆ 緩和ケアリンクナースとの連携

- ・緩和ケアリンクナース連携ラウンド



◆ 緩和ケア・がん看護の教育

- ・研修会・勉強会開催（ELNEC-J研修、緩和ケアセンター主催勉強会など）

緩和ケアチームが大切にしていること

- 多角的な視点から、患者さん・ご家族の苦痛や苦悩の緩和に向けて取り組んでいます
- 他職種間での円滑なコミュニケーションとタイムリーな介入を目指しています
- 病棟と緩和ケアチームとの連携・情報共有を密にします
- それぞれの専門職が自分の役割を認識し、積極的に取り組む姿勢を大切にします